

參考資料

語句説明

語句	語句説明
シミュレーション	自然界で生じている自然現象を数値計算で再現すること。
基盤岩	対象とする地層の形成時に、堆積物の「いれもの」をつくっていたと考えられる地層・岩体を示す ¹⁾ 。
第四紀更新世	第四紀は更新世(洪積世)と完新世(沖積世)に2分される。更新世の方が古く、年代は約160万～約1万年前 ¹⁾ 。
洪積層	第四紀更新世(洪積世)に堆積した地層を洪積層という ³⁾ 。
沖積層	第四紀完新世(沖積世)に堆積した地層を沖積層という ³⁾ 。
地質層序	時代の古い順から新しい順にどのような地層が重なり合っているかを示したもの ¹⁾ 。
帯水層	地層を構成する粒子間の空隙・間隙が大きく、かつ地下水によって飽和されている透水層 ¹⁾ 。
水理地質	水理学に基礎を置いた(地中での水の流れ方に着目した)地質の見方 ²⁾ 。
透水係数	帯水層の透水性を表す係数 ¹⁾ 。単位断面積を単位時間に通過する水量を推定する際の指標。

語句説明

語句	語句説明
EC	電気伝導度。水の伝導度は溶解するイオン量に比例して大きくなる。この測定により水質の変動が示される。 ³⁾
不圧地下水	地下水体の上面の水圧が大気圧と釣り合っていて重力の作用によって流動している地下水のこと。自由水と同義。 ²⁾ 被圧地下水に比べて循環速度は速い。 ¹⁾
被圧地下水	帯水層の上下を不透水層または難透水層によって制限され、上位の地層の荷重によって加圧されている地下水。 ¹⁾ 地下水体の上面の水圧が大気圧より高い地下水のこと。 ²⁾

【出展】

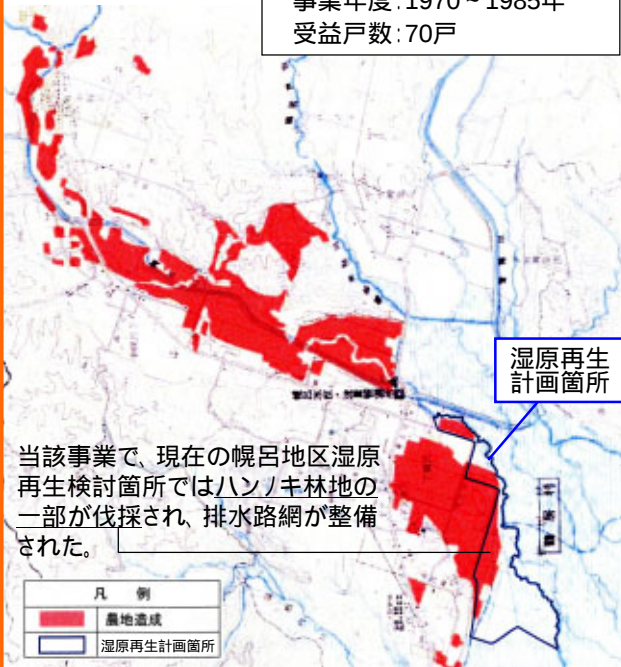
- 1)『新版 地学辞典』
地学団体研究会 編
- 2)『地下水調査および観測指針(案)』
建設省河川局監修 (財)国土開発技術センター編集
- 3)『土質工学用語辞典』
土質工学会(現 社団法人地盤工学会)

幌呂地区の変遷

生活・生産基盤形成のため、幌呂地区国営農地開発事業が1970年から1985年に実施され、河川改修は1980年頃までにほぼ完了した。

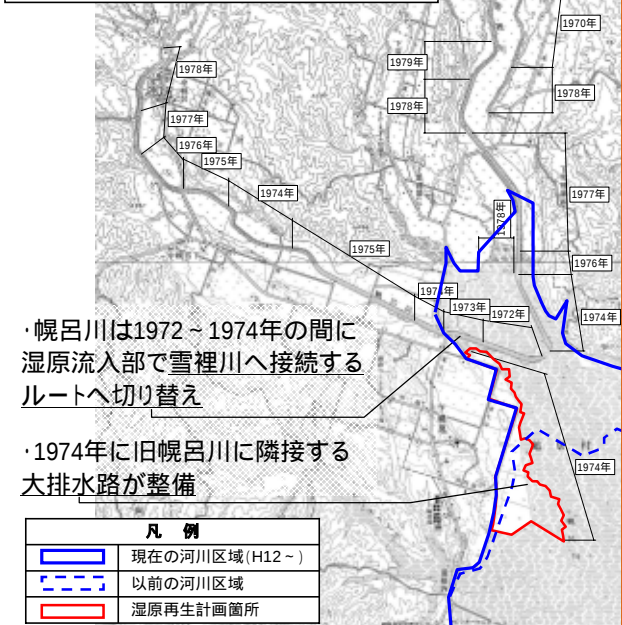
農地開発の歴史

- 幌呂地区国営農地開発事業
面積: 1,255ha(左図)
事業年度: 1970～1985年
受益戸数: 70戸



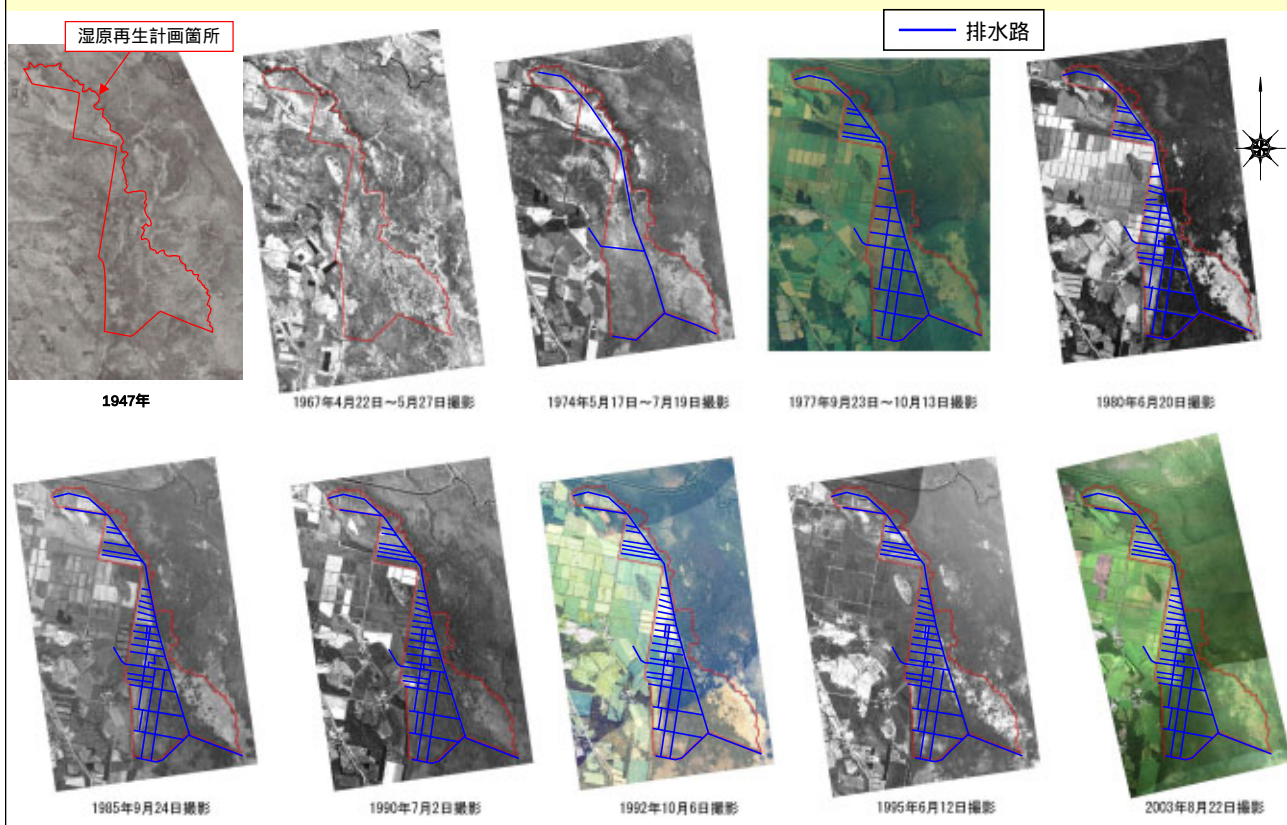
河川改修の歴史

- 河川改修工事は、国営農地開発事業として1970年に開始され、1980年頃までにほぼ完了した。



幌呂地区の変遷

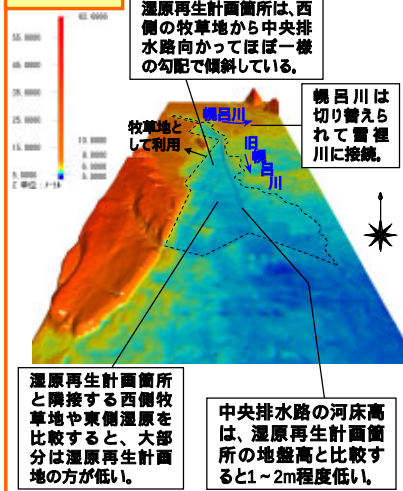
航空写真で見る幌呂地区の変遷



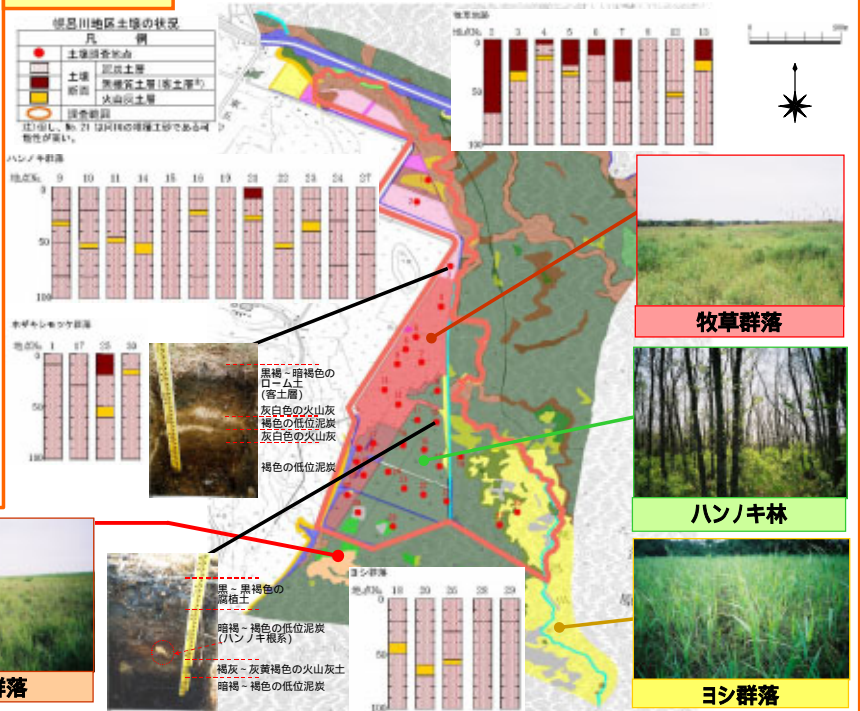
幌呂地区の現状

生活・生産基盤形成のために農地開発(幌呂川の切替え、排水路整備、樹木の伐開、客土等)が行われた。

地形



植生と土壌



・幌呂川の切替えによる冠水頻度の減少
・排水路整備による地下水位の低下
・樹木の伐開、客土による湿原植生の減少

スゲ群落

ヨシ群落